

宮城地区

① コミュニティデザインの説明、紹介

【出会い・発見編】

- ・地域資源の紹介や大まかな課題を住民配布用に作成
- ・比較的地域資源が豊富なので、他の地区より作成しやすいかもしれない。

【願い・思い編】

- ・できるだけ社会教育の範疇から飛び出さないように作成した。
- ・わかりやすくするため、地区公認キャラクターを使って、七つの町を七つの願いとひっかけ作成。

【仕掛ける・つなぐ編】

観光の要素が強い地区のため、そこに引っ張られ、併せて【願い・思い編】と区別するため、一般的なコミュニティデザインのイメージで、教育からはみ出し地域創生的な感じになっていることは改編の余地あり。

- ・行政の一方的な視野で、本来課題を解決すべき主役住民の姿が見られないことは改編の余地あり。

② コミュニティデザインを意識した事業の説明、紹介（活用の現状）

- ・公民館運営推進委員会協議資料
- ・生涯学習奨励員への配布
- ・公民館講座の地域性を出した企画
- ・公民館ロビー展示及び配布（出会い・発見編のみ）
- ・改編時の支所地域振興課とのすり合わせ

③ コミュニティデザインの活用に係る問題点、意見

- ・そもそも作成の意義や視点、活用方法が確立しておらず活用しにくい。
- ・途中から公表することになったためアピールのみ目的となっていないか。
- ・抽象的表現なので、社会教育団体の活動への助言の資料には向かない。
- ・館独自に作成している短中長期の世代別社会教育の方向性の詳細資料との整合性に調整を要する。
- ・【願い・思い編】と【仕掛ける・つなぐ編】は似かよっており、改変しづらい。